

【平成 30 年 11 月 1 日から平成 32 年 10 月 31 日までに整形外科にて大腿骨近位部骨折の治療・手術を受けた患者さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

大腿骨近位部骨折^{*1}患者における特発性正常圧水頭症^{*2}有病割合についての研究

- *1: 大腿骨近位部骨折とは大腿骨近位部骨折とは、脚の付け根から太もも当たる骨の部分で、多くは転んでお尻を打ったときに骨折をおこし受傷します。骨粗しょう症のひどい方は、軽い外からの力で骨折する場合があります。大腿骨近位部骨折は、関節の中で折れる場合（大腿骨頸部骨折：だいたいこっけいぶこっせつ）とそれよりもう少し膝側の関節外で折れる場合（大腿骨転子部骨折：だいたいこつてんしぶこっせつ）の2つの種類があります。
- *2: 特発性正常圧水頭症とは、原因は明らかではありませんが、脳の中の脳室（のうしつ）といって脊髄液（せきずいえき）というお水をつくる部分が拡大し歩くことに障害が出たりや認知症、尿失禁（おもらし）の症状を来たす病気のことです。

【研究背景・目的】

大腿骨近位部骨折の患者さんは近年急速に増加しています。大腿骨近位部骨折は転倒によるものが主な原因ですが、転倒を起こす原因として「特発性正常圧水頭症併症」の可能性が含まれていることが考えられます。この「特発性正常圧水頭症併症」は適切な治療を施せば、症状が改善し転倒の原因を取り除くことが出来ます。この研究では「大腿骨近位部骨折」と診断された患者さんの中に「特発性正常圧水頭症併症」の患者さんがどのくらい存在しているかを調査します。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成 30 年 11 月 1 日から平成 32 年 10 月 31 日
- ・対象：平成 30 年 11 月 1 日から平成 32 年 10 月 31 日までに整形外科で大腿骨近位部骨折の治療・手術を受けた患者さん
- ・取得情報：生年月、性別、身長・体重、既往歴、内服薬、単純 X 線写真画像、

CT画像、整形外科手術の有無、血液検査所見

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 整形外科 園田 和彦

【問い合わせ先】

飯塚病院 整形外科 稲員 千穂
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83
TEL：0948-22-3800（代表）